

令和2年度第1回 江の川水系（下流）大規模氾濫時の減災対策協議会 議事概要

1. 日 時・場 所 : 書面開催

2. 議 事

- (1) 令和元年度の実施状況について
- (2) 令和2年度の実施予定について
- (3) ダム検討会その後の経過（協定締結）
- (4) 流域治水プロジェクトについて
- (5) 今後のスケジュール

3. 議事結果

令和元年度の実施状況について、各機関のソフト及びハード対策の取組を共有した。また、令和2年度の取組予定として、「住民向け防災計画作成支援（マイハザードマップ及びマイタイムラインの普及）、小学校を対象とした防災教育資料の普及、外国人への防災講座の運営支援、企業向け防災教育支援ツールの検討及び作成、排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施、多機関連携タイムラインの実施方針」について共有を行った。

さらに、既存ダムの洪水調節機能の強化を図るために開催したダム部会の概要及び締結した治水協定の共有、昨年の令和元年東日本台風を踏まえて、従前より一歩踏み込み、河川対策に加え、流域対策（集水域と氾濫域）と、ソフト対策を盛り込んだ「流域治水プロジェクト（仮称）」について情報を共有した。今後のスケジュールについては、幹事会や担当者会議により協議を行い、次回の協議会で報告する。

4. 意見概要（意見照会結果）

- (1) 令和元年度の実施状況・令和2年の実施予定
特に意見無し。

- (2) ダム検討会その後の経過

- 【江津市】

- ・浜原ダムの効果等については地元説明も行っていただきたい。

- 【邑南町】

- ・広島県側のダム放流情報や上流側の河川水位の情報が重要である。

- 【美郷町】

- ・広島県側のダム貯留効果は大きい。

- (3) 流域治水プロジェクトについて

- 【美郷町】

- ・「水害に強い地域づくりのための移転集約WG（仮称）」については、一般論ではなく、自治体

毎に、個別に具体的な議論を行うことがよいと考える。

例えば、地域によっては、コンパクトシティといった考え方は、高齢者が別転地に移動すること等困難である。

以上